

平成 29 年度第 3 回下野市社会教育委員会議 議事録 (要旨)

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 23 日 (火) 9 時 30 分～11 時 20 分
- 2 場 所 国分寺公民館 101 会議室
- 3 出席委員 委員長 五月女 洪
副委員長 水田 あけみ
委 員 高山 玲子
日下田 英彦
青木 ムツミ
島田 実
花澤 公久
佐藤 善行
大垣 玉枝
高木 香奈子
- 4 出席職員 教育長 池澤 勤
生涯学習文化課長 近藤 善昭
国分寺公民館長 齋藤 光利
石橋公民館長 山内 隆匡
生涯学習推進グループ 大門 啓美
塩濱 弘子
- 5 議 案
(1) 下野市公民館振興計画 (案) について
- 6 その他

委員長	あいさつ
教育長	あいさつ
委員長	議題に沿って進める。
事務局	議題（１）下野市公民館振興計画（案）について。まず、活動計画（案）について説明を求める。
委員長	資料に基づき説明（基本目標１の活動計画）
委員	施策目標①公民館事業の充実について、意見はあるか
委員	一つ目、「家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育など、各年代のライフスタイルに沿った課題解決型講座を実施します。また、地域教育としてまちづくりの担い手や、様々なボランティアの養成を目的とした講座を実施します。」だが、「また」と続いてあるが、別項目にして二つにしたらどうか。
委員	そのほうが、わかりやすい。
委員長	二つにわけろ。
委員	「様々なボランティア」とあるが、具体的に「学校支援」や「公民館支援」と入れたほうがいいのではないか。社会教育委員から生涯学習推進協議会委員に選出されているが、協議会でも学校支援ボランティアを充実させていこうという提案がされているので、ぜひ公民館振興計画の中でも明記してほしい。
副委員長	生涯学習情報センターでもそのような役割を担っているが、それとは別なのか。
委員	学校支援ボランティアバンクとして生涯学習情報センターで取りまとめているが、地域に根差した支援となると地域にある公民館が中心となってくると考えている。
教育長	様々な所にボランティアの養成の部分があるべきと考える。公民館もその一つであり、それらを市として取りまとめる。３年計画で学校運営協議会を立ち上げようとしており、今年２年目である。その中で生涯学習情報センターに行けば学校支援ボランティアの情報が得られる、公民館でも情報が得られるようになるというのが理想的である。コーディネーターに関しては意図的、計画的に養成していかなくてはいけない。学校と地域、地域と公民館または関係機関を結ぶ役割を担うコーディネーターは必要である。活動計画に戻り、「地域教育」という言葉があるが、この言葉は適切ではないと思うがいかがか。「地域を学ぶ学習」や「地域と学校を結ぶ学習」と考えると違和感を覚える。
委員	地域教育というよりは、地域活性に結びついてくるというようなことだと思う。
教育長	地域の活性化を図る、地域の人々の輪を広げるという部分なので、地域の活力あるまちづくりや地域の輪を広げることを実現する担い手としての、

<p>委員長</p>	<p>と書き換えたほうがわかりやすいのではないか。「地域教育」は難しい。公民館振興計画の活動計画なのでより具体的にしたほうが良いと思う。</p>
<p>教育長 副委員長</p>	<p>地域の人を発掘して学校教育を支援する学校支援ボランティアというのは、各中学校におくということで平成 20 年度くらいに文科省からでたと思うが。</p>
<p>教育長 副委員長</p>	<p>下野市においては、生涯学習情報センターで行っている。 うまく機能していないと生涯学習情報センターの職員から聞いている。登録人数はかなりいるが、学校の地域連携教員とのコミュニケーションができていなく周知されていないようだ。10 年くらい前に地域コーディネーター養成講座があり修了生で活動していこうという動きがあったが、学校との連携がうまくできず、1 年で解散になってしまった。</p>
<p>委員</p>	<p>今は学校も地域連携教員が配置され、連携できる体制になってきている。地域で学校を育てる、地域で子どもたちを育てると考えると、地域が中心になってくる。</p>
<p>委員</p>	<p>学校の部活動の指導者がいなくて困っているところもある。また、ボランティア養成講座の修了生は活用していくようにしていかななくてはならないと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>活動計画の中の「課題解決型講座」の言葉を、もう少しやわらかく別の言葉にしたほうが良いと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>一般的には馴染みのない言葉かと思う。別の言葉にする。</p>
<p>委員</p>	<p>次の「生涯学習活動の場の提供」の活動計画についてはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>一つ目の「生涯学習に関する全ての活動の場」としてしまうと、他に活動の場がないように思ってしまう。個人的に活動している方もいるので、「活動の中心の場」としたほうがよいと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>「親しまれる公民館」であるが、「親しまれる」が課題であるので、親しまれるためにどうしたらよいかを考えたほうがよい。公民館コーディネーターのような地域の人がいることによって、地域の人に親しまれる、地域に馴染まれる活動ができるのではないかなというようなことを考えればよいのではないかな。</p>
<p>事務局</p>	<p>③「学習情報の提供と充実」についてだが、「学習情報の掲示や資料提供に努めます」これは、今までも行っていることである。「情報の収集、提供機能の充実を図ります」これについて齋藤館長はどう考えるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>学習情報の提供と充実については、できる限り努力はしているが、足りない部分もあるだろうと思う。基本目標の 4 でも情報についてはでてくるが、様々な方策を考えながら進めて参りたいと考えている。ここではこの二つの活動計画でお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>具体的なものは、この活動計画から広げていけばよい。</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて、基本目標（2）活動拠点としての公民館について説明願う。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料に基づき説明</p>
<p>委員</p>	<p>学習成果の発表の場だが、自分たちが活動している公民館だけでなく、ほかの公民館でも発表できるようにしたらどうか。</p>

事務局	5 ページの 4 つ目で、利用団体同士が他の公民館と交流したいという意見をいただき、「利用団体同士が交流できるよう支援します」と提案させていただいている。また、7 ページにおいても「4 公民館合同の発表」などのご意見をいただいております。「各種事業・イベントを通して、地域の連帯感を育む支援をします」としている。
委員長	「各世代が参加・見学に」とあるが、各世代とは主にどの世代をターゲットに考えているか。全国的に 20 代 30 代の利用が少ないという調査結果がでている。
委員	公民館の開館日・開館時間が決まっているので、来られる人は限られてしまう。青少年や 20 代 30 代に来てもらうには、土・日曜日や夜間に開催するように広げなくてはならない。
委員	3 ページのグループ協議結果の 3 つ目に「利用団体や自主グループの一覧を作成して周知します」とあるが、一覧表はあるのか。
委員長	生涯学習情報誌「エール」に掲載してある。
委員	その方たちの得意分野での技術を、学校等で活かしていただきたい。
委員	学習成果の発表の場の提供だが、公民館まつりのあり方や運営の工夫を取り入れたらどうか。
委員	自主サークル会員の高齢化で、作品を他の公民館に運ぶのは困難であるので、ほかから多くの人を呼べるよう周知してほしいという声を聞く。
委員	公民館まつりは実行委員会を立ち上げて運営しているので、その中で決定していくようにしていけばよい。
委員	公民館まつりもお互いに見に行くように周知、工夫していくことも大切である。
委員長	続いて、基本目標（3）協働のまちづくりの拠点としての公民館について説明願う。
事務局	資料に基づき説明
委員	一番目の「利用者との協働による公民館運営を目指します」は、委員会のような組織をつくるころまでを目指しているのか。
事務局	この振興計画期間の 3 年間の中では、検討事項にはなるかと思うが、委員会組織をつくり公民館運営をしていくころまでは考えていない。今のところは、利用団体等に依頼している講師と館長・指導員が個別に話をし、依頼している。
委員	将来的には視野に入れているのか。
事務局	今後の検討事項になってくると思う。
委員	「気軽に立ち寄り」が重要である。気軽に話し合えるサロンのようなものを設置すると、人も集まるのではないか。
委員長	婦人会や子ども会や障がい者施設などに依頼して、コーヒーなどを低価格で提供するようになると、地域の間となるのではないか。
委員	自主グループで作った野菜などを使って料理したものを提供するなど、発展していくと人も集まると思うが、公民館内で販売するとなると制限もあるのか。

教育長 委員 教育長	<p>営利目的の使用は禁止されている。</p> <p>公民館まつりではいいのか。</p> <p>公民館まつりは、営利目的ではなく学習の成果の社会還元である。活動計画なので、大枠で項目を決めていただければ、具体的な活動はいろいろできる。</p>
委員長	<p>「気軽に立ち寄り」という部分に包括されている。</p> <p>最後に、基本目標（４）地域文化創生拠点としての公民館について説明願う。</p>
事務局 委員長 事務局 委員	<p>資料に基づき説明</p> <p>公民館活動については、ホームページで公開しているのか。</p> <p>していない。利用案内・予約のみである。また、空き状況もわかる。</p> <p>公民館振興計画であるので、9 ページの「市民のニーズに対応するよう公民館利用規定等を随時見直します」「交通手段のない利用者への対応を考えます」は重いのではないか。公民館だけで決めていけることなのか。</p>
事務局	<p>事務局でも難しいと考えていたが、委員のみなさんからいただいた意見の中に多くあったので、このようにまとめさせていただいた。</p>
教育長	<p>この２つの項目の上に「市民が利用しやすいシステムづくりに努めます」とあるので、ここにまとめさせていただけると非常にありがたい。</p>
委員長	<p>「市民が利用しやすいシステムづくりに努めます」にまとめるということではよろしいか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
委員 事務局 委員長 委員	<p>「活かす」と「生かす」があるが統一させたほうがよい。</p> <p>修正する。</p> <p>④職員の資質向上はどうか。</p> <p>二つ目の「地域住民」と限定してしまっているのか。「市民」などに広げたほうがよいと思う。</p>
教育長	<p>「公民館利用者」でいかがか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
委員長	<p>続いて、公民館振興計画の体系図について確認する。事務局より説明願う。</p>
事務局 委員	<p>資料に基づく説明</p> <p>すごくいい基本理念になったと思う。公民館に行こうと思うイメージになった。</p>
委員長	<p>この内容でよろしいか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
事務局	<p>今回は、10月3日（火）午後1時30分から公運審との合同会議となる。本日いただいた意見を基に修正し、活動計画について意見交換を行う。</p> <p>事前配付した通知「平成 29 年度栃木県社会教育委員研修会の開催について」「全国の社会教育委員及びその関係者のみなさまへ ご協力をお願い」について説明</p> <p>以上で閉会とする。</p>

